



広報

うまじ

第197号

平成13年2月1日発行



ネイチャーキッズ自然探険隊（三宝山）

自然の中へ

21世紀は環境の世紀です。美しい地球を守る人間を育てるためには、子どものころから、澄んだ川の水や四季折々に変化する森の木々の美しさに、身も心もたっぷり浸った経験があるということが大切です。

子どもを自然の中に連れて行きましょう。大人が何かを教えるだけでなく、子どもが何かを発見したりするするどい感性に、驚いたり、感心したりしながら、いっしょに楽しみましょう。ふるさとを愛する心は、そういう積み重ねの中で育ちます。(関連記事は8~9ページ)

目次	特集	村長21世紀の夢を語る ---- ②③
		今年の顔 ----- ④⑤
	教育	PTAは何をすること -- ⑥⑦
		21世紀は環境の世紀 ----- ⑧⑨
	国際交流	にこにこコロナヨーロッパ -- ⑩
		行ってみて初めてわかる中国のパワー -- ⑪
	健康福祉	あじのある人生ほか ----- ⑫⑬
	教養	馬路村の歴史と伝説ほか -- ⑭⑮
	お知らせ	「ケアセンター中芸」完成ほか ---- ⑯⑰
		赤ちゃん万歳 ----- ⑱
	村のできごと・村内あちらこちら ---- ⑲	

をつくらう!



役場幹部会で話をする上治村長

新年あけまして

おめでとうございいます

をよろしくお願い申し上げます。

二十一世紀のキーワード

今世紀は情報化・環境・循環型社会・自然生態系ということがキーワードになると思います。

村では各課・部署において時代の流れを先取りし、創意工夫して業務に当たることとしています。

特に最大課題でありますゴミ焼却場の建設は、安芸広域で取り組んできましたが、平成十四年十二月（焼却施設の構造等に関する基準の法律期限）までに間に合わないことが発表されました。

法律の期限以降ゴミが焼けない状態を回避するために、村では中芸五か町村での対応を含めて議会と共に研究をしています。

来るべき情報化・循環型

社会を目指して村の振興計画（二〇〇一年から二〇一一年までの十年間）を今年策定することとしています。

前回（一九八八年策定）の計画を見直すと共に、村民の声を繁榮させるものにしてまいります。

介護保険制度順調にスタート

昨年スタートしました介護保険制度は、村民の皆さまのご理解・ご協力により順調に進んでいます。

新しい制度でありますので利用方法など分からない事柄については村にお問い合わせください。

また、高齢者保険福祉計画にそって社会福祉協議会と共同して、介護予防の一環と生きがい対策で「健康ほっとサロン」も行っているところとす。

定住人口増で町村合併をクリア

「森は馬路村から」を合言葉に国の補助事業（山村振興事業・林業構造改善事業）を導入し、それぞれ基盤整備や施設整備が順調に進んでいます。

村では村にある資源・財産を有効に使い、農業・林業・観光を産業の大きな柱として、若者をはじめ人々が定住でき、そして「元氣ある村づくり」「自立できる村づくり」に取り組みまいります。そのことにより、地方分権の中で大きな課題となります町村合併もクリアできるのではないかと考えています。

新しい平成十三年が、村民皆さまにとりまして、ご健勝で良い年になりますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

皆さま方には希望に満ちた輝かしい二十一世紀の幕開けをお迎えのことと心から喜び申し上げます。また昨年中は、村行政にひとかたならぬご理解とご協力を承りまして、厚くお礼申し上げます。私もわが郷土、馬路村の発展と村民皆さまの福祉向上のために、今年も住民の方々は「お客様」という気持ちで、職員一丸となって一生懸命山積する課題に取り組んでまいりますのでどうか温かいご支援、ご指導

村長21世紀の夢を語る

特集

元気な村・自立できる村

農 柚子加工品二十五億円を突破

農協を中心に生産と一体になった取り組みと、村民の皆さまや関係する多くの団体のご協力により、柚子加工品は二十五億円を売り上げとなっております。その事が馬路村を広く全国に発信させ、交流人口の拡大にもつながっております。その効果として観光の核でありますコミュニティセンターの利用も大幅に伸びている状況であります。

これからの消費者のニーズに因應するために有機農業への取り組みや生産面積の拡大、そして生産者の高齢化など多くの課題はありますが、村も基幹産業の中心でありますので一層力を入れてまいりたいと考えています。

また、今年の秋頃には馬路営林事務所の野木場が売りに出される予定であります。馬路村の柚子戦略「ゆずの森エコ・ミュージアム構想」も計画しており、その中で集荷作業の効率化や新商品の開発も進め、ますます需要が伸びていくと期待しています。



柚子加工場

林 森の仕事まると販売計画を推進

外材の輸入、木材価格の低迷などで光の見えない時代が続いていますが、村では、村土の九六%を占める森林資源を生かし、森林・林業の復活二年目を「森の仕事まるとと販売計画」の推進の年といたしたいと考えています。

三月には高知市に建築中の森の情報館エコアス馬路村のオープン、そして全国木造建築研究フォーラムが馬路体育館を中心に開催されることとなっています。森林組合・林材加工協同組合、そして昨年設立しました第三セクター(株)エコアス馬路村など林業関係者と協議しながら、全力で取り組みたいと考えています。

エコアス馬路村では、国有林野事業の改革による受け皿対策、そして環境をテーマにした新商品の開発(森のトレイ工場)も始まります。

全国に森のファンをつくるのが森の仕事の応援団となることを期待し、情報発信を行いながら森の循環型社会に取り組みしていきます。



エコアス馬路村
(建設中の写真です)

観 四季折々の幸で大きな期待

村民の皆さまのご協力により今まで行ってきたイベントの効果も少しずつ現れ、交流人口も増大しています。そして農協・村への視察も多くコミュニティセンターの売り上げも大幅に伸びています。今年には森林鉄道を中心とする西谷川周辺整備を進めると共に、春は山菜、夏は昨年全国利き鮎会でグランプリに輝いた安田川の鮎、秋は昨年設立いたしました松茸採取組合の協力による松茸料理、冬は猪鍋と四季折々の山・川の幸を看板メニューに今年も大きく伸びてゆくことを期待しています。

また、魚梁瀬オートキャンプ場も今年ログハウスが五棟になり、魚梁瀬事務所が千本山を中心に整備を行っています。事業とタイアップして、山の自然を満喫できる体験型観光も進めていく予定です。元気のある馬路村を発信していくには、都市部との交流も大事でありますので、村民の皆さまにはご協力をよろしくお願ひします。



馬路温泉厨房

今年
の
顔

「へび年の人集まれ」
二十一世紀最初の年はへび年です。
今年も、職場や家へ、おじやました。
突然の訪問で写真をはずかしがる方もいまし
たが、それぞれの年代の方に、すてきな笑顔
とすてきなお話しをいただきました。
紙面の都合上、掲載できなかつた方、ごめ
んなさいね。



五百藏 恵美代 (鯉瀬) 大正6年生
体さえ丈夫で、食べることがで
きて、好きなことをして遊べたら
えいねえ。



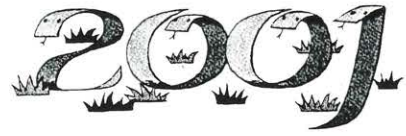
上総 三雄 (日浦) 大正6年生
健康で長生きするのが一番です。



尾谷 清子 (日浦) 大正6年生
みんなと協力して、村のために
尽くして、元気に幸せな生活を送
りたい。



清岡千代美 (影) 大正6年生
お大師様のお参りをできるだけ
続けたいです。朝日出のお地藏さ
んへも毎日お参りしています。



大田 美香 (東川) 昭和4年生
今年も孫の野球を楽しみにし
ちゅう。



井手野長一 (影) 昭和4年生
今年も健康でいたい。
孫の成長を楽しみにしちゅう。



坂本 若夫 (相名) 昭和4年生
健康で幸せな一年でありたい。



藤原 俊彦 (鯉瀬) 昭和16年生
楽しみはやっぱり孫と会うこと
やねえ。



畠中 瑯子 (影) 昭和16年生
今までどおり自然体で生きたい。



谷井 稻穂 (日浦) 昭和4年生
今年も健康でありたい。後は適
当に書いちょいて。ああそうそう
税金をあんまりとらんように!!



中野 文子 (魚瀬) 昭和28年生
今は子どもの入試が近いので、
抱負を言えるような心境ではな
いです。後からゆっくり考えます。



山崎 綾子 (魚瀬) 昭和16年生
今年もがんばるぞ!!



大野 開作 (相名) 昭和16年生
断酒会日常五心 (素直、感謝、
反省、謙虚、奉仕) を守り、支え
あいの気持ちを大切にしたい。



尾木 陽子 (魚瀬) 昭和40年生
健康な1年で!!



垣上 弘衣 (日浦) 昭和28年生
子育て中ですが、人との出会い
を大切にしたい。



小松 良重 (魚瀬) 昭和28年生
あんまり考えてないけど…。
年は48やけど38ばあに思うちゅう。



山田 佳行 (相名) 昭和52年生
エコアスにとっては今年は勝負の
年であるので、村民のみなさんに協
力していただきながら、がんばりたい。



中野 亨 (魚瀬) 昭和40年生
健康に気をつける。



乾 康浩 (影) 昭和40年生
がんばる。



北野 晴香 (魚瀬) 平成元年生
手話をがんばりたい。



尾谷 末沙 (日浦) 平成元年生
中学生になるので、勉強もス
ポーツもがんばりたい。



入江 和香 (魚瀬) 昭和52年生
充実した1年にしたい。

教育

PTAって
何をすると
ころ？

連

家庭・学校・地域を
結ぶPTA

PTAは連携の場

いろいろな仕事をしている人が、子どもが縁でできた仲間がPTA。家庭と学校と地域の教育力を効果的に連携させることができる一番の力を持つのがPTA。

高知県が力を入れて推進している『土佐の教育改革』の大きな柱に「家庭と学校と地域（社会）の連携」があります。そして、その家庭と学校と地域の三つの教育の輪が重なり合う所で、最も重要な役割を担う組織は、やはりPTAです。

PTAは、戦後日本に導入されました。そのPTA創成期、一九四七年三月に文部省が全国に送付したパンフレット『父母と教師の会―教育民主化の手引き』には、「子どもたちが健やかに育っていくには、家庭と学校と社会とが教育の責任を分け合い、力を合わせて子どもたちの幸福のために努力していく必要がある」と述べています。それから五十年以上たち、今、多くの地域で、PTAは形骸化したと言われています。「責任ある役、しんどい役は人任せ」、「学校の単なる下請け」、「行事のマンネリ化」などです。



保護者の出席率が、とても高い魚梁瀬地区PTA定例会。また、父親の出席が多いのにも驚かされる。出席することで、教育に関するさまざまな考えを知ることができ、広い視野が持てる。

● P T A ●
『P』は
「PARENT」父母
『T』は
「TEACHER」教師
『A』は
「ASSOCIATION」会
つまり、PTAは父母と

教師の会の意味。
教育効果の向上、子どもの幸福実現を目的とする。
一八九七年アメリカで結成。日本には第二次世界大戦後設立。普通は学校単位に結成。

PTAは学びの場

どんな教育書よりも、わが子の具体的な子育ての知恵を見つけることができるのがPTA。いろいろな趣味や才能を持った人が集まっていて、いっしょに話し、行動して、視野を広げることができるのがPTA。

学

「PTAは子育ての学習の場」と言われていますが、大切なことは、偉い人の話をうのみにするのではなく、保護者同士が出し合えるかということです。

「PTAは子育ての学習の場」とは、子どもだけでなく、保護者同士の人間関係が解決の糸口になる場合があります。魚梁瀬で十一月に行われた村内PTA交流会は、馬路と魚梁瀬の両PTAが集い、「子ども」の話」を酒の肴にして、今後につながる有意義な話をしている姿が印象的でした。

村内PTA交流会

村内PTA交流会は、馬路と魚梁瀬の両

生涯学習の場としてのPTA 子育ての学習の場としてのPTA



美しい歌声のクリスマスコンサート

「ハミングゆず」はもともとPTAを母体として、平成十年に発足したコーラスグループですが、今ではPTA以外の人も参加し、馬路中学校野町教頭先生の指導のもと、毎週水曜日の夜、馬路中学校でコーラスとトーンチャイムを一生懸命練習しています。十二月十六日には、就

ハミングゆず

業改善センターにてクリスマスコンサートを開催村民に楽しいひとときを提供してくれました。メンバーの多くが子育てや家事や仕事で多忙な中、仲間や家族に励まされ、何かに打ち込む姿は感動的で、地域の教育にも大きく貢献しています。



お互いの考えを本音で語り合う

ゆずが縁で 友だちでできたよ

馬路小三・四年生

十二月二十五日、高知市から大型バスで、高知小学校四年生たち三十九名が来村しました。

高知小学校四年生は、社会科で、「ゆずでがんばる馬路村」について数時間にわたって学習し、その馬路村を實際に見てみたくなったというのでした。

農協と教育委員会と学校が連携し、ゆず加工場訪問や三コースに分けた村内フィールドワークのほか、昼ごはんは馬路小三・四年生が安養寺先生と地域の方々（山中澄子さん、大野広子さん、中屋イトミさん、森岡訓子さん）と作ったゆず料理などで楽しく交流ができました。

後日、「馬路村の人情に心をうたれた」というお礼の手紙をいただきました。





平成十二年度実施した
『安田川・水辺の楽校』より

生まれつきそなわっている子どもの
「センス・オブ・ワンダー」を
いつも新鮮にたもちつづけるためには、
私たちが住んでいる世界のよろこび、感激、
神秘などを子どもといっしょに再発見し、
感動を分かち合ってくれる大人が、
すくなくともひとり、
そばにいる心要があります。 —レイチェル・カーソン—

一九六〇年代、克明な調査を基に、殺虫剤に含まれる化学薬品の自然環境に与える影響について告発し、環境問題のバイブルと呼ばれる本『沈黙の春』を書き著わしたのが、レイチェル・カーソンというアメリカの生物学者です。その環境問題に多大な功績を残した彼女が、晩年、病の床で、衰えゆく身を削るようにして書いた著作に『センス・オブ・ワンダー』があります。子どもの感性を育てるには、どうしたらいいか、世の父親や母親のために書いた本です。上の文章はその本から引用しました。

二十一世紀は環境の世紀と言われています。地球の温暖化ひとつとっても、単に一地域、一国家でがんばればいいのか、という問題ではなく、世界中で考えなければならぬ問題です。

そして、その二十一世紀の主役となつて生きるのが、今の子どもたちです。その子どもたちが環境に配慮し、美しい地球を守る人間となれるかどうかは、私たち大人の責任なのです。

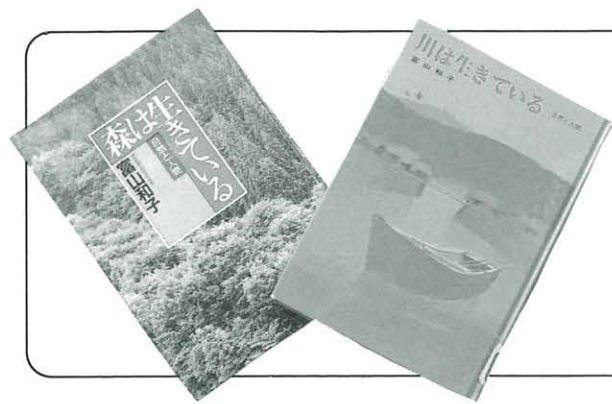
本の紹介

『川は生きている』

富山 和子 著

『川は生きている』は、治水の歴史や、ダムの働き、川の汚染などを紹介しながら、川の仕組みの大切さを、土や森、私たちの生活と関連づけて解説してくれる名著です。

この著者の作品には『森は生きている』『水と緑と森』など、自然と人間のかかわりについて書き著したものが多く、ぜひ、読んでほしい一冊です。



21世紀は環境の世紀

育てていますか？ 子どもたちの センス・オブ・ワンダー

(美しいもの、未知なるものに目を見はる感性)



最優秀作品

私の住んでいる馬路村には安田川が流れています。やがてそれは、太平洋へと流れこんでいきます。私たちの村にある川でも不思議はたくさんあります。川にどういう仕組みがあるのか、どのように川が生きているのかなど知りたかったのでこの本を選びました。

昔は川の水をそのまま飲んでいたけれど、今は、そのまま川の水を飲んでしまうと病気になるってしまうと書かれていました。昔と今とでは、川の美しさがちがうというのです。その理由の一つとして、今私たちは、お皿を洗う時に洗ざいをたくさん使います。これが川をきたなくしている原因の一つです。一度よごれた川をもとのようにもどすには大変な年月がかかるということです。洗ざいの量を少な

くするなど一人ひとりの心がけが大切だと思いました。不思議に思ったのは、降った雨がどうやって谷や川になるのだということ。雨はたくさん降ると水を土にたくわえるそうです。そういうと三宝山に行った時、地面がしめっていて、ふみしめると水がしみ出て来ました。こうし

しりとつかんでいるので大じょうぶなのだそうです。去年、馬路村で土破くずれが起きまわった。これは木が少なくなっているということでしょうか。最近、あちこちで土砂崩れが起きていますが、山が昔と変わってきていることの現れなのかもしれません。それによつて大雨が降ると川があばれ、

「川は生きている」を読んで

馬路小五年 清岡 美沙 さん



て地中にたくわえられた水が何年かたつて少しずつわき出し、谷や川になるのだということ。すごい自然の仕組みです。

読んでいると土の半分以上は水であると書かれています。これは土砂くずれが起きるのではないかと心配になります。でも木の根が土をがっ

こい水が起きるといふこと。村を流れている安田川には、自まんでできることがあります。

全国の川でとれたアユの食べ比べをして、安田川のアユが一位に選ばれたのです。これは安田川が美しい証です。アユの解禁日には、アユを求めて百台以上の車が安田川ぞ

いにやって来るそうです。美しい川は、おいしい魚を育てるといふことが分かります。六月、馬路のおくにある千本山に登った時その登り口にとてもきれいな川が流れていてびっくりしたのを思い出します。水がすけて川底が見え、ゴミもありませんでした。馬路も負けないくらいにしたけれど、ゴミが増えてきているので難しいかもしれません。でもこの本を読んで、私たちの生活に欠かせない恵みを与えてくれるこの川を大切にしていかなければならないと感じました。

また川は、山や森林とも大切なつながりがあることも知りました。その中の一つでも汚されたり、くずされたりすると様々な災害が起こるといふことです。自然があばれた時、人間の力ではどうすることもできません。だからこそ、自分でできることから実行していつて豊かな自然を守っていきたいと思います。

【対象図書】

「川は生きている」

(富山和子著、講談社)

久しぶりに おばあちゃんに会いました

日本の冬は十分に寒いのに、2000年のクリスマスをイギリスにいる兄とおばあちゃんと一緒に過ごすことにしました。

モスクワ経由でロンドンに到着。すぐに兄のところへ行きました。そして次に、私が10歳のときから会っていなかったおばあちゃんに会いに行きました。おばあちゃんが元気かどうか心配しましたが、とても元気でした。

私は、おばあちゃんに日本でどんな生活をしているか、いろいろ話をしました。そして、おばあちゃんも人生のいろいろな話をしてくれました。その中で何よりもおもしろかったのは、おばあちゃんの青春時代の話でした。

おばあちゃんは、ニュージーランドの南島の最南端にある小さな町に生まれた田舎育ちの人でした。おばあちゃんの親は貧乏だったため、おばあちゃんはその町から出たことがないし、旅行もしたことがなかったそうです。

でも、おばあちゃんは若いとき、水泳がとても上手でしたので、「ニュージーランド・ゲームズ」という、日本の国体みたいな大会に参加することができたそうです。

私は、おばあちゃんが、なぜ、そんな大きな大会に出るほどがんばったのが、たずねてみることにしました。

「水泳が大好きだったから？」

「いいえ、ちがうよ。」

「じゃあ、水泳が上手になりたかったから？」

「いいえ、ちがうよ。」

どの質問も「いいえ」でした。みなさんは、どうしてだと思いますか。

実はおばあちゃんの答えは、こうだったのです。

「私は、大きい都市へ行って、若者と遊びたかったのさ。もしかしたら、ハンサムボーイもいるかもしれないじゃない。」

他にも、おばあちゃんの若いころの話を聞かせてもらい、私はとてもすばらしい日々を過ごしました。

馬路村の皆さんもおじいちゃん、おばあちゃんを大切にね。

おじいちゃん
おばあちゃん
を大切にしてくね！



国際交流員 ニコラ・フィンクルさん
(ニュージーランド出身)



馬路村の
ゆずの入浴剤を
使って、お風呂に
入っています。

「土佐鶴」
飲みました。
日本のお酒
とっても
おいしい。

祖母
ジョーン
さん

兄
サミュエルさん



文部省教員海外派遣研修に参加して

行ってみて 初めてわかる

中国のパワー

馬路村教育委員会 浜地 洋一



リズム感のある英語の授業
(合肥市師範学校附属小学校)



伝統芸能の授業 (上に同じ)



レベルの高かった小学校3年生の英語
(合肥実験学校)



真剣なまなざしの学生たち
(肥東県第一中学校)



子ども版カルチャーセンター
(合肥少年宮)

平成十二年九月十四日から、二週間、中国へ研修。中国最大の都市上海を皮切りに、南京、安徽省合肥、西安、北京と訪問しました。

すごい勢いの経済発展
海外旅行の乏しい私の中国のイメージは、「歴史的なたたずまいの街を、自転車に乗った大勢の人が往来している」ぐらいのものでしたが、実際に行ってみると、都会では巨大ビルが林立し、交通網の整備が進み、国家の巨大な力で経済開発がどんどん進んでいました。この経済発展の裏には、「経済で遅れをとった国は、他国に侵略される」という古い歴史を持つ中国の強い心構えのようなものを感じました。

日本では考えられないような広大な土地を切り開いて造られた経済開発区には、欧米諸国、韓国などのコンピュター関連の工場が建設され、日本の有名企業の名前もいくつかみつかることができました。「二十一世紀はアジアの時代」の言われているようですが、中国のこの発展を見れば納得できます。

勉強熱心な学生
教育視察では、高知県と友好提携をしている安徽省の省都・合肥市の幼稚園から大学までを視察しました。非常に熱心な勉強ぶりで、大学生などは休み時間に校庭の木陰で、勉強している姿を見かけました。早朝、ホテル近くの公園を散歩をしたときも、学生が英語を勉強している姿を見かけました。

中国・アジア東部図

けました。教育事情は日本に比べて決して豊かとは言えませんが、学問に対する意欲はるかに上かもしれません。その中で、国際化時代に向けて、その中心的な言語になるであろう「会話を中心とした小学生の英語教育」も進んでいます。

訪問校で、何人かの生徒と英語で話をしましたが、積極的な受け答えで、会話が続きました。日本人と中国人が、英語で会話をしているのは変な感じですが、これから、世界の人たちが集まって会話を楽しみ、コミュニケーションを深める手段として、英語はグローバル時代の必要不可欠の道具と実感しました。

《健康寿命とは？》

健康で明るく元気に生活し、生きがいや楽しみを持って満足できる生涯、つまり痴呆や寝たきりにならない状態で、自立した生活ができる期間のことを『健康寿命』と言います。

たとえば、脳卒中を起こして倒れたとしても努力したりハビリの結果、再び自分で身のまわりのことができるようになったりというのも『健康寿命』です。

また、障害があっても自分らしさを大切にしながら人生をつくりあげていくことが、広い意味での健康づくりと考えられるのではないのでしょうか。

新世紀リレーインタビュー 《馬路村のお宝にズームイン》

馬路在住 岩城熊子さん

あじのある人生 (1)

あるがままの美しさ

今時、こんなからだも心も元気な方はめったにおいでません。実際お会いしても生涯現役であることを感じさせてくれるこの方は本物です。明治四十二年（満九十一歳）、馬路生まれの馬路育ち。

あるがままの美しさ

熊子さんにお会いしていると「その美しさのみなもとはどこにあるのか」ということを知りたくになります。「あて（わたし）は、みんなからおぼけやっつて言われる。歳がいつてから髪の毛は増えるし黒うなつた。まだまだ、目も見えるし、耳も聴こえる」と、その表情からは自信と余裕がうかがえる。「自分らしく生きる」と、生涯現役でいられる秘訣「って何だろう。熊子さんの歴史の一部に分ふれながら、その理由を聞きました。

★子どものころの一番の思い出は何ですか？
十歳からただただ仕事をしたねえ。田の草をみしたり這うたり、おとどい（兄弟）

★娘ざかり華ざかりのころの艶のあるはなしは？
馴れ初めというてもあてのお父さん（ご主人）とは、親が決めた結婚じやもの。十九歳で結婚して、二十歳で行きなおしをした。
★えっ、行きなおして相手が変わったということ？



健康寿命宣言

あては百歳まで生きる

三人でそりやー仕事をした。朝の暗がりから炬火を持って影のそら（現在の城山）へ上がつて木を拾うてきた。校長先生が集会てほめてくれてほんとう嬉しかった。
仕事をしたき「そりや、おとろしいばーまま（飯）を食べた」（※茶わん五く六杯だそうです）

そうやない。昔は、一年ばーはためしで行ったもんよ。その家へありつくかどうか、子どもを産めるかどうかいうてねえ。
★嫁入りはどんな感じだった
あての時は髪結さんがおらんかったき、乾の宿屋のおばさんがおしろいをぬつてくれ

た。親に買ってもらった裾模様（裾に模様をつけた着物）を着いて、嫁入り道具はたんすと桐が一つずつ。提燈をつけて、夜に影から東川へ歩いて行くがよ。嫁さんに親、親戚とたんすかきがおった。行く前から酒を飲んで、道中でも休みもつて飲んで、たんすかきがゆるら行くもんじやき、東川へ着いた時にはたんすがわらくれて（割れて）しもうちよつた。
★健康で自立していられる秘訣は何ですか？
もうこの三十四・五年月一回高知へ鍼を打ちに行きゆう。一回もかかいたことがない。朝一番のバスに乗って行き、土電でお昼を食べて、二時すぎには馬路へ帰って来ゆう。若い時は病氣もしたけど、鍼の先生のおかげで、今はどこつちやあ悪うないし元気なもん。ヒロ（息子）としっちゃん（嫁）にもぎつちり言いゆう。「あてばあえいもんはない。自分のしたいように、思うように何でもさせてもらうて。畑もするし、漬物物もどつきりつける。そうた（ちゃんちゃんこの袖のないもの）も縫う。みんななに喜んでもらいたいき、やりたいわねえ。みんなあのおかけ。あてはこのままやったら百歳まで生きる。

保健衛生

21世紀における国民健康づくり運動『健康日本21』って何だろう？

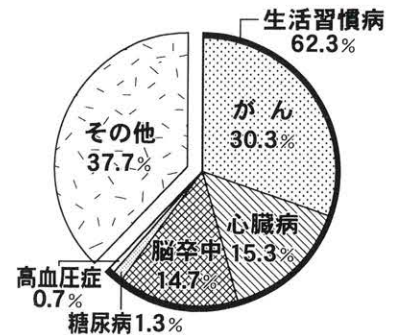
日本の平均寿命は、戦後生活水準の向上や、医学の進歩により急速に伸び、今は世界一の長寿国となりました。しかしこのような急速な人口の高齢化は、生活習慣病の増加や病気に伴う「痴呆」「寝たきり」などの障害も増加しています。

また、年々出生率の低下とともに今後は超高齢化社会になることが予測され、このままで行くと21世紀の日本は、病気や介護による負担が大きな社会問題になると考えられています。

そこで、21世紀の日本をすべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするためには、今まで以上に国民一人ひとりが、病気や寝たきりにならないように、日ごろから健康づくりを実践し病気を予防することが大切です。

このような健康寿命を延ばすことを目標においた21世紀における国民健康づくり運動のことを『健康日本21』と言います。

《総死亡に占める生活習慣病による死亡の割合》



厚生省「人口動態統計」/平成10年

※ 生活習慣病とは毎日の生活習慣（食事や運動など）を見直し、改善することで死亡や発病を防ぐことができる、脳卒中、心臓病などの病気。

家電リサイクル法の施行により

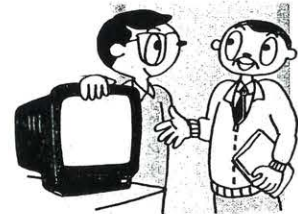
テレビ・エアコン・電気冷蔵庫・電気洗濯機の4つの製品を
不要品として引き取ってもらう場合や排出する場合に負担が必要となります。

平成13年
4月1日から

環境衛生

○ 家電リサイクル法とは

一般家庭や事務所から排出された特定の家電製品（エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機が対象）の有用な部品や材料をリサイクルして廃棄物を減量し、資源の有効活用を推進するための法律です。



○ 家電リサイクル法の消費者負担金について

消費者は、家電製品（エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機が対象）を排出するとき、その製品を買った店や同種の製品を購入する（買い換え）場合に小売業者（販売店）等に収集や運搬を依頼します。（自宅まで引取に来てくれます。）

その時に消費者は、小売業者の取り引き費用（収集運搬費）と製造業者の再商品化の料金を負担することになります。また、負担する料金は、小売店の店頭や電話による照会等であらかじめ知ることができます。

消費者が負担する費用 = 収集運搬料金 + 再商品化等料金(リサイクル料金)

※役場は特定の家電製品（テレビ・エアコン・電気冷蔵庫・電気洗濯機）の収集は致しません。

※業者が家電製品を引き取ってくれない場合などのときは、役場にご相談下さい。

※詳しくお知りになりたい方は馬路村役場健康福祉課までお問い合わせ下さい。

馬路村の
歴史と
伝説



〈通算第91回〉

馬路公民館長 山中 巖

魚梁瀬・馬路の官林の
藩政末期から明治初期
にかけての状況 (2)

土佐藩の番所があつたとこ
ろから左に折れて、漸く下り
径になる。あたり一面、スス
ダケが殊に生い茂つて高さが
一丈(約三・〇三メートル)
余りもあり、獸路はあるもの
の枝や葉が左右より入り組ん
で、立つては行くことができ
ない。そこで腰をかがめ、ま
たは両手両足をついて獸のよ
うに進んで行く。このように
して一里余りでスダケが自
然になくなり、初めて青空を
仰ぎ、四方の山々を見渡すこ
とができた。山の峰はどこま
でも続き、樹木は沢山茂つて
うす暗く、むらがりあつまつ
て、右の方に「千本山」、左
に「雁巻山」を眺める。杉の

宿泊してとどまることになり、
旧土佐藩の山林掛りで、監守
の岡田氏らと山林のことを話
し合い、聞いたことなどを一
つ二つ記す。
魚梁瀬村は、土佐の国、安
芸郡の西北のはてに在つて、
山の峰は幾重にも重なり、阿
波との境は、十里余りもあり、
だんだんと下つて、しだいに
狭く、形はちようど扇のよう
である。真北の国境に一番
高い峯があり甚吉の森と呼ぶ。
その峰は東西に走つて居り、
また地区の西に聳え立つてい
る山を天狗の森という。官林
の字を三十余りに分けている。
その反別は、およそ壹万七千
三百四十町歩余りで、大小の
川や溪がたくさんあり、その
字が高面(山)影地(山)よ
り発して諸溪を合すものを東
の川(東川)と呼び、その字
東又、西又より発した諸溪を
合せ更に赤石より発する中の
川(中川)を合すものを西の
川(西川)と呼ぶ。西の川は
東の川よりやや大きい。この
西の川、東の川は村の南で合
流している。下流は奈半利湊
に至つて、海に注いでいる。
運輸には非常に便利が良い。
そうして、全山がみな天然
林で針葉樹が多い。なかでも
有名な良材は杉で、その他非

馬路村歌壇

陽を溜めて庭にころがる薯の名は

知らずに植えき紅の肌

安子

来む冬の間近き日にてモネの庭に

花開きゆく紫陽花にあう

源治郎

気短かき心を押え一本一本

漬物用の大根引けり

佳子

紅葉散る温泉の宿に来ておしみつつ

一人見ている広き庭にて

雅子

くれないの落葉の中に寒蕨

鮮やかにのび立つを見つ

久子

雨雲は千本山の峯を覆い

霧雨は巨き杉の木のう

満

ダム湖より真横に吹きくる雪を背に

野帳を捲る指のかしかむ

潔子

生垣に密かに香る柃の

するどき刺に声をあげつつ

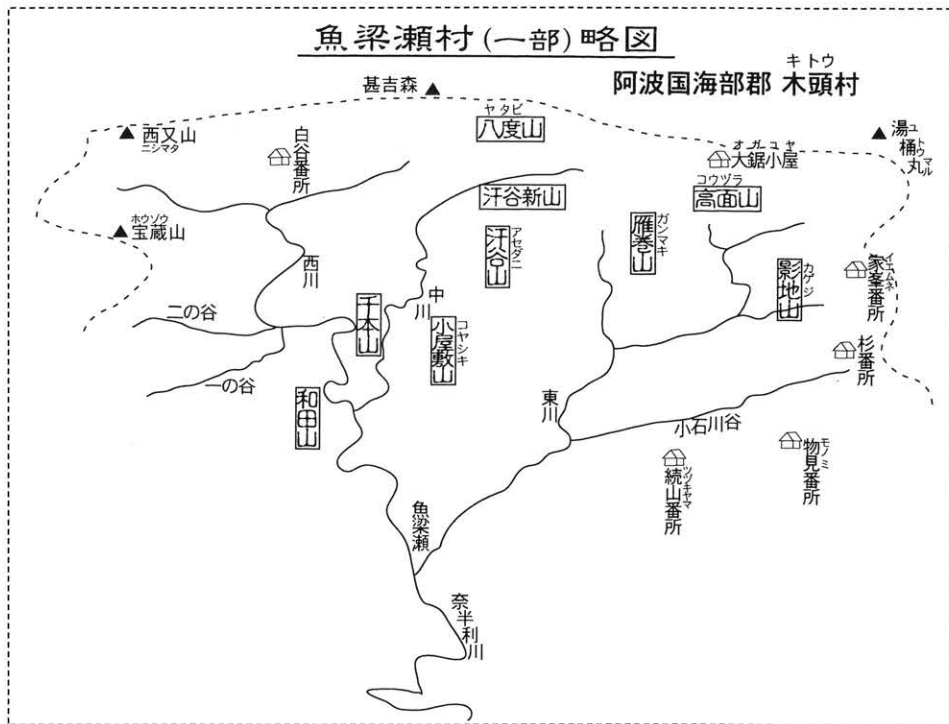
千恵子

井上一美さんを悼む

二十年句友の通夜の窓に光る
星一つあり柚子のごとくに

いわお

魚梁瀬村(一部)略図



常に多いのは榎の木である。良林でもっとも名高いのは干本山と雁巻山で、杉が七・八分、桧が二・三分の割合である。これについて反別の広いのは一の谷で約三千町歩におよぶ。その他杉と榎が半々の割合で生えているところや、榎が七・八分のところもある。

思うに、杉や桧を伐採すれば榎が茂り、杉桧の自生は、小木のために成長をとげることができない。そのように伐木ごとにだんだん榎林に変ることがあるという。それゆえに榎を有害樹として、昔からその樹皮を剥いでからし、自生の杉を繁殖させることを「剥

枯し」と言って山林の手入れの急務としてきたのである。「そう言えば、私が汗谷の付近を通ってきた時に、枯槁木が多いのを見た事だった」と言うのと、「そこは何年前に、官にて伐木の余品を願ひ受けた御冥加として「剥枯し」を施行したものである」と言う。つづく

注(一)明治の文章は読みにくいので、私なりに現代文に直して記している。
 (二)柏は古来からヒノキ、サワラ、コノテガシワなどを言ったことばと解釈した。
 (三)魚梁瀬村の地図を発見できないので資料によつて作製した。ミスあればご指摘下さい。
 お詫びと訂正
 前号の広報十一ページの「着特」は「着物」の誤りでしたので、訂正してお詫びします。
 なお、「南川」は「ミナガワ」、「柄谷」は「カラタニ」と読みます。読者からの質問がありましたので、あわせて、ここに載せます。

馬路村俳壇

さかさまに我をうつして冬の水
 柚子湯にてその柚子の香におぼれつつ

清子

寒椿ふくらみそめし見てあかず
 墓地整理工事の進む十二月

喜美栄

枯菊を焚いて残りの年惜しむ
 海光る青年大師石路の花

安子

白々と大根すだれや世紀の果
 子らの香の染みしゆたんぼ納屋の隅

千鶴子

狸汁叔父在りし日の憶い出に
 極月に一美さん逝く穴あきし

雅子

井上一美さんを悼む
 手習いの針箱のこる寒椿

佳江

アリランをうたいてゆくか寒夕焼
 初春の湾のさざ波輝きて

千恵子

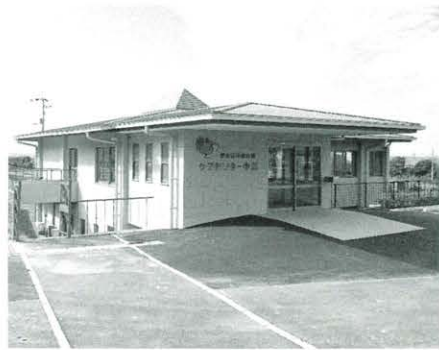
満月の空に童の走り居る
 馬路村内仏像調査(二句)

いわお

千手観音出でて昂る寒の雨
 暖房館木地師の裔と名のり来る

中芸 介護公社

「ケアセンター中芸」が完成



中芸介護公社の新事務所が旧特別養護老人ホーム「愛光園」の管理棟を改築し、装いも新たに「ケアセンター中芸」として完成しました。

新事務所は、鉄筋コンクリート二階建、一階には介護体験研修室や相談室兼作業室、二階には事務室、ヘルパー室、ケアマネージャー室があり、それぞれの階には障害者用トイレも設置しています。

一階には介護体験用ベッドやポータブルトイレ、車イス等を備えて介護に必要な方やご家族の方などが、介護体験研修を行えるようになっていきます。

【新住所】

奈半利町乙四四〇一
TEL 〇八八七三八四〇八〇
FAX 〇八八七三八二六五六

健康 福祉課

おらが村いちばんの元気もん!!

「健康の秘訣かよ…びっしり歩きゆうことやね。それと食べるもんは、やりこうないといかんし、朝昼晩おんなじもんを食べよつたらいかんと思

うがねえ」と話すのは、朝日出部落の谷井続さん(89歳)。このたび、高知県国民健康保険団体連合会から、長期健康者表彰を受けました。

谷井さんは、五年以上もの間、お医者さんにかかってい

ません。まさに、栄養、運動、休養の健康三原則の成せる技といえるでしょう。

☆国保と老人保健の医療保健制度の改正が、一月一日より実施されています。くわしくは役場健康福祉課までお問い合わせ下さい。

TEL 四二二二二二



株エコア ス馬路村

トレイ工場がついに完成しました

いよいよ、馬路村の森が動き出します!



馬路村の森を元気にするために、事業課は木を切り出して森を手入れし、加工課はその間伐材を『森のトレイ*ECC◎ASU馬路村』という商品に加工し、そして総務企画課が森のトレイを販売していきます。

このように、このトレイ工場は本拠地として、また、三月十日(土)に高知市南御座に完成する「森の情報館エコアス馬路村」は情報発信基地として、株エコアス馬路村の「森の仕事まるごと販売計画」がいよいよ本格的に動き出します。乞う、ご期待!です。

昨年四月に誕生した株エコアス馬路村の待ちに待ったトレイ工場が、東川部落のニチフ端子工場跡地に完成しました。

このトレイ工場には、さまざまな形の製品を一日に約二千個作ることができる機械と、一日約二万個の製品ができる大量生産型の機械が備わっています。木材を薄くスライスできるスライサーや、電子レンジの要領で木材を乾燥させる高周波乾燥機など約十四種類の大型機械を使って、まず『森のトレイ*ECC◎ASU馬路村』を作る最終調整を行い、三月の本格稼働を目指しています。



調整段階で完成した、トレイ第1号!!

総務課

交通災害共済加入者募集

平成十三年度交通災害共済加入者を募集します。

加入資格は、村内に居住し、住民基本台帳に記載されている方、または、外国人登録をされている方です。

加入申し込みは、加入の取りまとめをお願いしてあります婦人会の各支部の方を通じて、申込書に住所、氏名等を記入し、掛金を添えてお願いします。なお、役場総務課、

魚梁瀬支所でも受付します。

現在加入している人は…

三月三十一日で共済期間が満了となりますので、更新の手続きをお忘れなく。

まだ加入していない人は…

万一の事故に備え、この機会にご家族みんなで加入の申し込みをしてはどうでしょうか。

年掛金

700円

お申し込み受付は

平成13年2月1日
～3月31日

行政相談所だより(3)

総務行政相談委員

三宅哲男

境界が不明なために生じる紛争は、実際上は、所有権の及ぶ範囲の争いである場合がほとんどですから、所有権の及ぶ範囲の確認とは別に境界自体を確認することには、つぎのような意味があります。すなわち、所有権の範囲の確認を求める所有権確認訴訟では、裁判所は、当事者の申立てに拘束されるほか、原告

『境界確定訴訟と所有権確認訴訟』

所有権確認訴訟

が所有権の範囲を証明できなければ、その請求は棄却されてしまうため、紛争が解決されない結果におわってしまうことがあります。このため、裁判所が公法上の境界を対象にして、当事者の申立てに拘束されずに、客観的公平な立場から境界を確定することができる」とすれば、公益にも合致し、また、紛争当事者にとっても、境界が明らかにされる

ことによって所有権の及ぶ範囲に関する紛争を解決する基準が与えられるということが出来ます。

このように、境界確定訴訟は、所有権確認訴訟と密接な関係がありますが、別個の訴訟類型としての存在意義があるのです。

祝 / 21世紀 / 最初の成人式 /



1月2日 馬路村就業改善センターにて

成人式出席者

()内は父母氏名 敬称略

後列右から

- 乾 治 教育委員長
- 中屋 雅史 (博義)
- 甫木 誠也 (大助)
- 益田 貴文 (憲一)
- 門脇 啓 (紀美)
- 近藤 稔 (正信)
- 小松 優一 (守生)

前列右から

- 北村 早苗 (幸二)
- 大崎 圭子 (巖)
- 岩城 眞佐美 (勝則)
- 上治 堂司 村長
- 岩城 朝子 (立郎)
- 井手野 礼奈 (芳純)

赤ちゃん万歳

「パパ・ママといっしょ」



あゆか
栗山 亜優香 ちゃん (日浦)

平成12年1月11日生
(保護者 栗山範夫・亜佐子さん)

こんにちは。栗山家の長女 亜優香です。一歳の誕生日におもちを背負った時は、すぐにしりもちをついて動けなくなってしまったけど、今なら一人で立ってひよっとしたら歩けるかもしれません!? 何でもパクパクモグモグ食べる元気者で、おしゃべりとお散歩とお父さんとお風呂が大好きです。こんな私ですが、「お父さん似」「お母さん似」という言葉に一喜一憂している両親ともどもよろしくお願います。



ようへい
大野 洋平 くん (影)

平成11年10月19日生
(保護者 大野登央・緑さん)

こんにちは、僕の名前は洋平です。去年の十月からおじいちゃん、おばあちゃんの家と一緒に暮らしています。最近ちょっと反撃もするけど一つ年上の菜々子姉ちゃんにはよく泣かされるし、ぬいぐるみも怖かったりする僕ですがもう少し大きくなったら強くなるから待っちゃってよ。普段はお母さんと安芸の託児所に行っているので家にいることは少ないけどよろしくお願います。いつでも見かけたら気軽に声をかけて下さい。



ぶんた
小谷 文太 くん (影)

平成12年2月7日生
(保護者 小谷敬太・桂代さん)

こんにちは、ボクの名前は小谷文太です。パパが菅原文太のように、男前で男らしくなるようにと付けてくれました。でも最近ボクは、甘えん坊ですぐ泣くし、夜泣きをするので、パパが「ゴン太」と呼びます。もう少ししたらいい子になるから待ってね。いつも診療所の前で、ミニカーに乗って遊んでいるからボクを見かけたら声を掛けてね。ボクもバイバイの練習をしておくからね。これからも小谷文太をよろしくね。



きい
井上 姫維 ちゃん (日浦)

平成12年1月31日生
(保護者 井上博文・好実さん)

はじめまして井上家待望の三女です。見てのとおり父さんにそっくりです。ひよこクラブにもデビューし、お友だちがたくさんできました。夕方になると順じいちゃんがにわとりを見につれて行ってくれます。でも今は寒いので、早く暖かくなるのを待っています。今は、「あんみ」もじょうずにになり家中を歩き回っています。でも私の十八番はなんといってもダンスです。中もしんごママのおはロックは私の命です。

村内あちらこちら



12月2日 馬路地区熊野神社秋の例大祭



12月9・10日 馬路村文化祭



12月14日 おらが村いのちの教育研究会講演



1月1日 魚梁瀬地区体育始め



1月21日 第19回村民駅伝競走大会

村のできごと

《12月》

- 2日 馬路地区熊野神社秋の例大祭(～3日)
- 6日 馬路小学校校内マラソン大会
- 9日 第28回村文化祭(～10日)
村内芸能発表会
- 14日 おらが村いのちの教育研究会講演
- 15日 12月定例議会
- 16日 魚梁瀬小・中学校校内マラソン大会
クリスマスコンサート
- 27日 ネイチャーキッズ自然探険隊

《1月》

- 1日 魚梁瀬地区体育始め
- 2日 新春走り初めピットリタイムレース(馬路)
成人式
- 6日 消防出初め式
- 18日 森林組合安全祈願祭
- 21日 第19回村民駅伝競走大会
- 28日 中芸地区子ども駅伝競走大会

ご冥福をお祈りします

氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	地区
谷井 光誼	男	82	13・1・1	谷井光誼	本人	中ノ川
國廣 良一	男	72	12・12・28	國廣安子	夫の弟	影
山下 玉喜	女	77	12・12・13	山下玉喜	本人	中ノ川
井上 一美	女	90	12・12・1	井上一美	本人	日浦
田中 多治子	女	75	12・11・28	田中榮	妻	影

子ども	性別	父	母	生年月日	地区
北岡 来望	女	雄一	千恵	12・12・20	相名
川上 大輔	男	亀男	砂織	12・12・19	魚梁瀬
白川 志保	女	卓	友紀	12・11・27	影

ご出生おめでとうございます

2月・3月 むらの行事予定

月 日	2 月		月 日	3 月	
1	木	馬路健康ほっとサロン 交流センター) 10:00~15:00	1	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
2	金		2	金	
3	土	節分	3	土	馬路小学校ひなまつり発表会 ひな祭
4	日	立春	4	日	
5	月	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00	5	月	啓蟄
6	火		6	火	
7	水		7	水	
8	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	8	木	公立高校入試 (~9日) 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
9	金	人権相談 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00	9	金	
10	土	第19回東部美術展 (東洋町) ~13日	10	土	「森の情報館エコアス馬路村」落成式 (高知市)
11	日	建国記念の日	11	日	「森の情報館エコアス馬路村」オープン (高知市)
⑫	月	振替休日	12	月	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00
13	火		13	火	
14	水		14	水	
15	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00	15	木	馬路中学校卒業式 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
16	金	確定申告受付開始 (~3月15日)	16	金	
17	土	魚梁瀬小学校学習発表会	17	土	
18	日		18	日	魚梁瀬中学校卒業式
19	月	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00	19	月	
20	火		⑳	火	春分の日
21	水	巡回図書	21	水	巡回図書
22	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 引き取り犬・猫収集日	22	木	馬路・魚梁瀬小学校卒業式 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
23	金		23	金	村内小・中学校終了式 馬路保育所卒園式
24	土		24	土	魚梁瀬保育所卒園式
25	日		25	日	
26	月		26	月	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00
27	火		27	火	
28	水		28	水	
			29	木	
			30	金	引き取り犬・猫収集日
			31	土	村内保育終了日

1月末の人口
世帯数 530世帯
男 620人
女 661人
計 1,281人
(馬路 962人)
(魚梁瀬 319人)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010

E-mail adress umaji-v@edu.net-kochi.gr.jp

印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)